

## フライシュマン・ヒラード、「グローバル有事対応デスク」のサービスを開始 比類ないグローバルネットワークと専門分野の知見を活かし、日本企業の有事対応をシームレスに支援

フライシュマン・ヒラード・ジャパン株式会社（東京都中央区、代表取締役社長 金山 亮、以下 FHJ）は、日本企業が世界各国・地域で有事に遭遇した際のマスコミやステークホルダーへの対応を支援する「グローバル有事対応デスク」のサービス提供を開始します。グローバル PR／戦略コミュニケーションファームとしてフライシュマン・ヒラードが全世界に有する拠点網に加え、フライシュマン・ヒラードが属するオムニコム PR グループ（OPRG）のグローバルネットワークも駆使することで、日本企業の進出先やサプライチェーンに関わる国・地域で発生し得る様々な有事への迅速かつ戦略的な対応をシームレスに支援します。

多くの日本企業が事業のグローバル化を加速する中で、地球規模での社会課題の深刻化、テクノロジーの急速な発展に加え、大国間の対立や地政学リスクの高まりも相まって、各社が世界各国・地域において対応すべき有事リスクはますます多様化・複雑化しています。今回 FHJ が立ち上げる「グローバル有事対応デスク」は、定額での年間基本契約のもとで、平時におけるコンサルテーションに加え、有事において専用ホットラインでクライアントからの連絡を常時受け付け、連絡が入り次第 FHJ チームが速やかに初動対応をクライアントと協議し、原則として 24 時間以内にグローバル対応チームの組成と基本対応方針の提案を実施することで、効果的な有事対応をクロスボーダーで速やかに開始することを可能にするものです。なお、本サービスが対象として想定する「有事」には、以下のものが含まれます。

想定される有事	提供可能な支援サービス例
<b>1. インシデント対応</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>サイバーセキュリティインシデント対応</li> <li>自然災害、人身事故等への対応</li> <li>不祥事や不測の事態への対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>メディア/SNS モニタリング・解析</li> <li>現地でのインテリジェンス収集・ステークホルダー情勢分析</li> <li>対応戦略の策定・協議</li> </ul>
<b>2. イシュー・マネジメント</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>サステナビリティ、人権、ガバナンス等の諸課題に関する NGO、規制当局、投資家などとの対応</li> <li>対外投資・M&amp;A や投資先からの撤退等に伴うステークホルダー対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>社内外ステークホルダー・世論対応支援（海外・国内）</li> <li>プレスリリース、各種ステートメント等の作成支援</li> <li>記者会見等の各種イベント開催支援</li> </ul>
<b>3. 法規制・地政学リスク等への対応</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>法規制や政策の急変（の可能性）への対応</li> <li>地政学的な分断や紛争（の可能性）への対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>以上に関わる社内およびグループ企業間調整支援</li> <li>スポークスパーソンのトレーニング</li> <li>レピュテーション回復支援</li> </ul>

また、多様化・複雑化する今日的な有事リスクへの戦略的な対応を助言・支援するために、フライシュマン・ヒラードが擁する以下のような事業拠点や専門チーム・機関で常日頃から集約しているインテリジェンスや知見を、

最大限に活用できる体制を確保しています。

■ **フライシュマン・ヒラード サイバーセキュリティ センター・オブ・エクセレンス：**

サイバーセキュリティに関わる有事対応、平時からの対策・体制づくりのベストプラクティスを提供するだけでなく、情報開示に関わる法令等への対応、最新の関連ツール・サービスの開発動向の分析など包含した幅広い活動を展開している。

■ **フライシュマン・ヒラード レスポンシブルビジネス・アンド・グローバルインパクト：**

サステナビリティ、人権、ダイバーシティ、ソーシャルインパクト、責任ある AI の活用など、社会やテクノロジーに関わる最先端の課題やテーマに焦点を当ててグローバル規模で知見を集積しつつ、戦略的なコミュニケーションやステークホルダー・エンゲージメントを通じて、ビジネスが社会的責任を果たしながら持続的に成長・発展を遂げていくために求められる変革を促している。

■ **フライシュマン・ヒラード インターナショナル・アフェアーズ：**

国際貿易、開発援助、対外直接投資、宇宙開発、気候変動対応、人道的支援など、ハイレベル且つ複雑にからみ合うグローバル課題を視野に入れながら、各国政府はもとより、国際機関、企業、NGO などに求められる公共政策やステークホルダーへの対応、レピュテーション・マネジメントのあり方などについて幅広く助言や支援を提供している。

■ **フライシュマン・ヒラード EU：**

欧州連合（EU）が本部を置くベルギーの首都ブリュッセルを拠点として、民間企業によるパブリックアフェアーズ戦略展開や EU の様々な機関と民間企業との連携推進などを積極的に支援している。EU を中心に進められている各分野・テーマ毎のルール形成の最新動向に関するインテリジェンスに強みを持つ。

■ **フライシュマン・ヒラード ワシントン D.C.：**

米国の首都ワシントン D.C.に拠点を置き、米国連邦政府の公共政策に関わるキャンペーンの推進や、各種政策テーマに関する民間企業による政策提言とそれに伴うコミュニケーション戦略の策定・推進を包括的に支援している。

さらに、サステナビリティ、人権、地政学などに関わる有事リスク対応においては、当該分野に深い知見を有し、グローバル パブリックアフェアーズ（PA）アドバイザーの領域で従来から FHJ が協業をしている、**株式会社オウルズコンサルティンググループ**（東京都港区、代表取締役 CEO 羽生田慶介）とも必要に応じて連携・協力しながらクライアント企業を支援する方針です。

以 上

### 【フライシュマン・ヒラードについて】

フライシュマン・ヒラードは、オムニコム PR グループ（OPRG）に属する世界最大規模の PR／戦略コミュニケーションファームであり、世界 30 カ国以上に約 80 のオフィス網を展開し、45 カ国に関連会社を有しています。近年においても、Campaign Global PR Agency of the Year（2021 年、2022 年、2023 年）、ICCO Large Agency of the Year – The Americas（2023 年）、PRWeek U.S. Agency of the Year（2022 年、2023 年）、PRWeek U.S. Outstanding Extra-Large Agency of the Year（2022 年、2023 年）、Campaign US PR Agency of the Year（2023 年）、PRovoke APAC Consultancy of the Year（2021 年）、PRWeek UK Large Consultancy of the Year（2021 年）を受賞するなど、PR／コミュニケーション業界において世界的に高い評価を受けています。

### 【オムニコム PR グループ（OPRG）について】

オムニコム PR グループは、オムニコムグループ（NYSE: OMC）のコミュニケーションおよびコンサルティングエージェンシーによる世界最大級のグローバルネットワークです。世界的な総合 PR／戦略コミュニケーションファームであるフライシュマン・ヒラード、ケッチャム、ポーター・ノヴェリの 3 社を擁するほか、公共政策や選挙キャンペーン、広告・ブランド戦略、国際医療・保健衛生戦略、組織変革支援などの特定テーマに特化した多数の専門エージェンシーを傘下に有しています。

### 【オウルズコンサルティンググループについて】

オウルズコンサルティンググループは、戦略コンサルティングの豊富な経験や政府機関、NPO・NGO とのネットワーク等を生かし、官民のルール形成や人権・サステナビリティ分野をはじめとする社会課題解決事業に注力するとともに地政学・経済安全保障分野に深い知見を持つプロフェッショナル・ファームです。

- 会社名：株式会社オウルズコンサルティンググループ
- 所在地：東京都港区元麻布 3-1-6
- 代表者：代表取締役 CEO 羽生田 慶介
- URL：<https://www.owls-cg.com/>

本プレスリリースに関するお問合せ先：

フライシュマン・ヒラード・ジャパン株式会社

Tel. 03-6204-4300 / Email: [generaljp@fleishman.com](mailto:generaljp@fleishman.com)